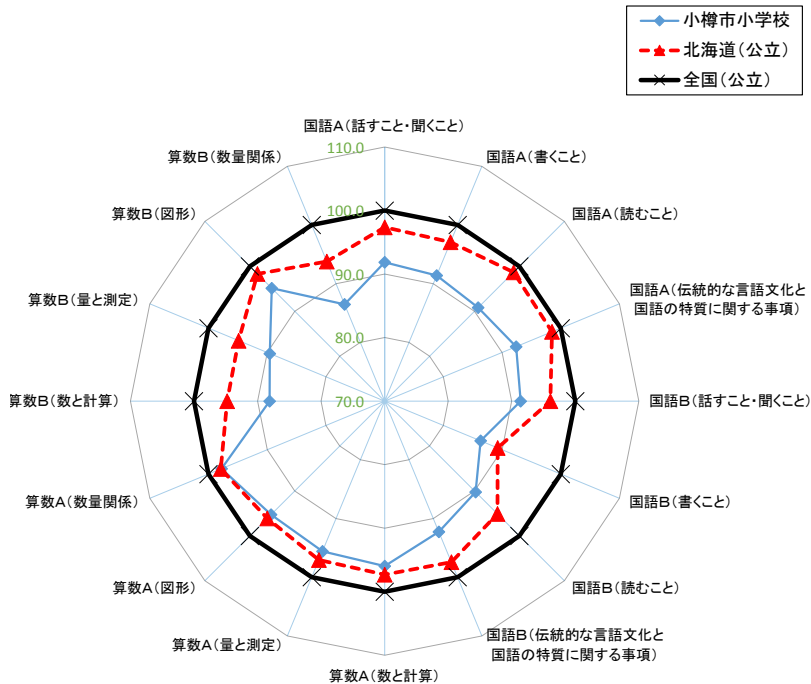


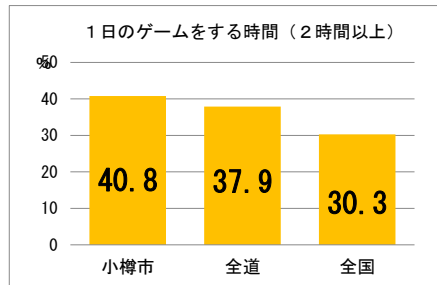
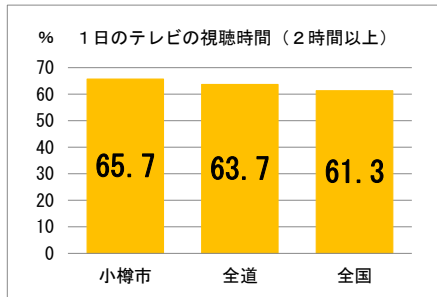
■ 小樽市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:24校、児童数:893名)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



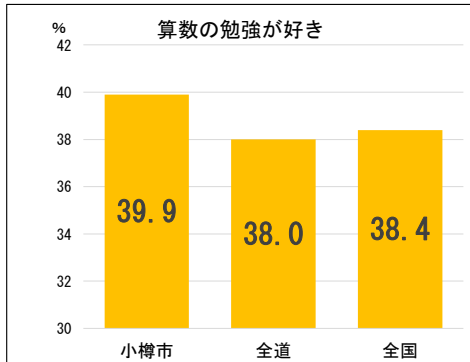
【児童質問紙調査】



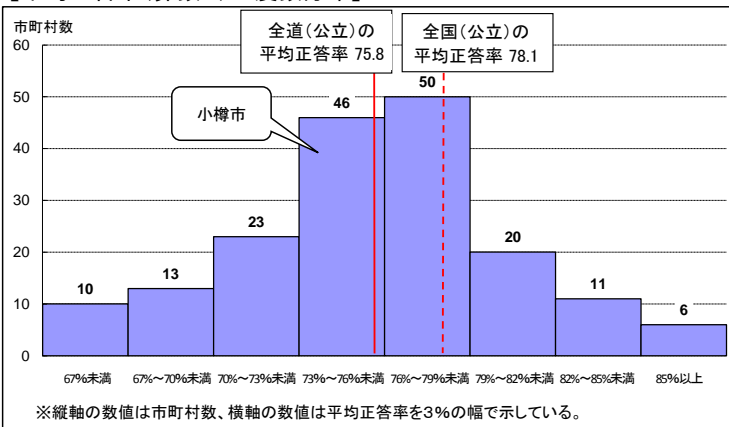
【各教科の平均正答率】

	国語A	国語B	算数A	算数B
小樽市	67.2	50.3	75.0	51.5
全道	71.8	52.9	75.8	55.2
全国	72.9	55.5	78.1	58.2

【児童質問紙調査】



【平均正答率(算数A)の度数分布】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 算数Aは全道と比べ、0.8ポイントの差まで縮まっている。 ○ 算数Aにおける「図形」「数量関係」で昨年度と比べ、全国との差が縮まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校で、基礎・基本の定着に関する指導や外部人材を活用した学習の充実を図ってきたことにより、算数Aにおける「図形」「数量関係」で昨年度と比べ、全国との差が縮まっている。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 算数の勉強が好きと回答した児童の割合が、全道、全国を上回っている。 ○ 「1日のテレビの視聴時間」及び「1日のゲームをする時間」で2時間以上と回答した児童の割合が、全道、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校で、算数に対する興味・関心を高める指導や発展的な指導の充実を図ってきたことにより、算数の勉強が好きな子どもの割合が高くなってきていると考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 算数の指導として、発展的な学習の指導をよく行ったと回答した学校の割合が、全国を上回っている。 	

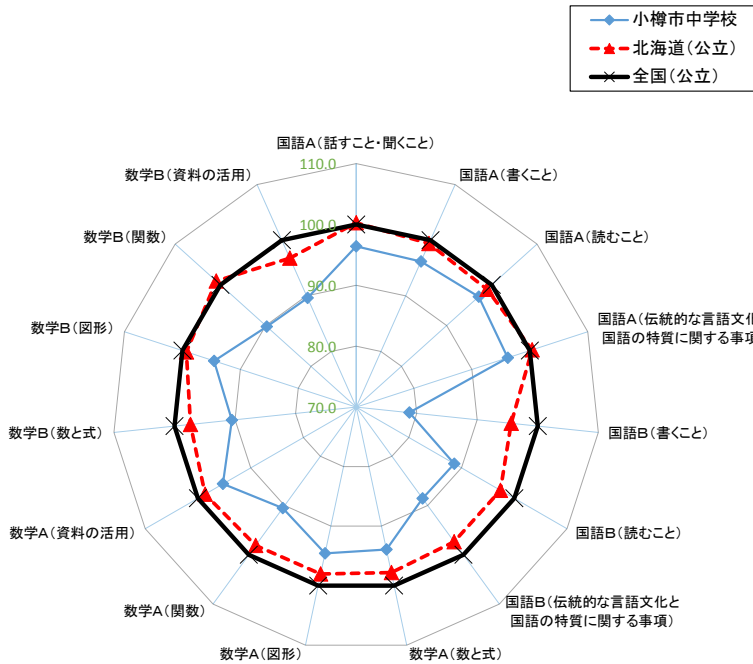
【小樽市の学力向上策】

- ◎ 全国学力・学習状況調査やCRT検査の結果を活用した授業改善
- ◎ 家庭学習の習慣化を目指す「音読」の取組
- ◎ 「樽っ子学校サポート事業」など外部人材を活用した放課後や長期休業中における学習活動の工夫
- ◎ 「商大・高等学校等合同進路説明会」を実施し、児童及び保護者の学習や進路選択に対する関心を高める取組

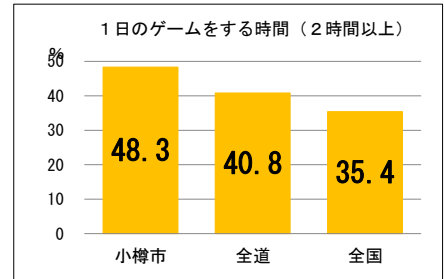
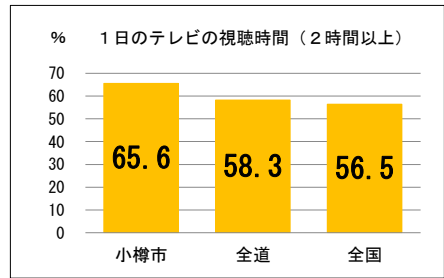
■ 小樽市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:14校、生徒数:877名)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



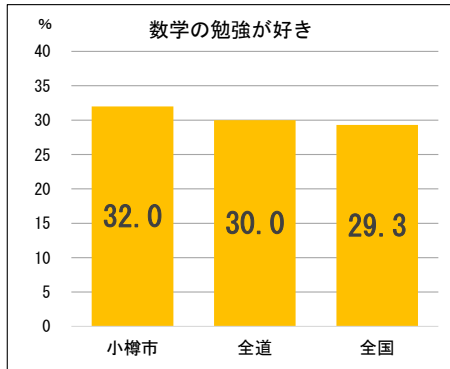
【生徒質問紙調査】



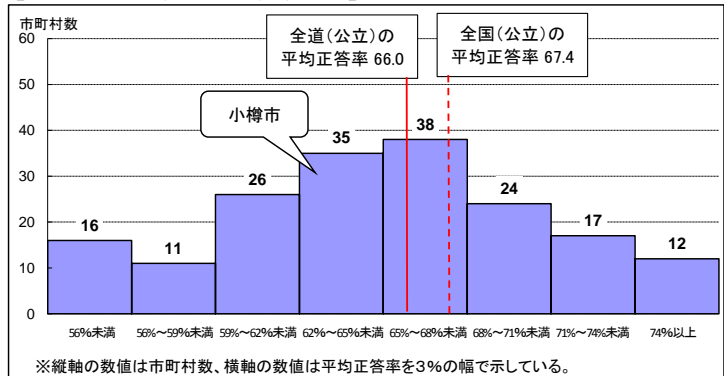
【各教科の平均正答率】

	国語A	国語B	数学A	数学B
小樽市	76.5	45.7	63.1	54.7
全道	79.4	49.9	66.0	59.4
全国	79.4	51.0	67.4	59.8

【生徒質問紙調査】



【平均正答率(数学A)の度数分布】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語A、数学A・Bは昨年度と比べ、全国との差が縮まってきている。 ○ 数学A「数と式」「図形」「資料の活用」については、全道との差が縮まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校で、基礎・基本の定着に関する指導や家庭学習の取組の充実を図ってきたことにより、国語A、数学A・Bが昨年度と比べ、全国との差が縮まってきていると考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学の勉強が好きと回答した生徒の割合が全道、全国を上回っている。 ○ 「1日のテレビの視聴時間」及び「1日のゲームをする時間」で2時間以上と回答した生徒の割合が全道、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校で、数学に対する興味・関心を高める指導や補充的な学習や発展的な指導の充実を図ってきたことにより、数学の勉強が好きな生徒の割合が高くなってきていると考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学の指導として、補充的な学習の指導や発展的な学習の指導をよく行ったと回答した学校の割合が全国を上回っている。 	

【小樽市の学力向上策】

- ◎ 全国学力・学習状況調査やCRT検査の結果を活用した授業改善
- ◎ 家庭学習の習慣化を目指す「音読」の取組
- ◎ 「樽っ子学校サポート事業」など外部人材を活用した放課後や長期休業中における学習活動の工夫
- ◎ 秋田大学教授をアドバイザーとした校内研修の活性化及び授業改善を図る研修会の開催
- ◎ 「商大・高等学校等合同進路説明会」を実施し、生徒及び保護者の学習や進路選択に対する関心等を高める取組